

平成29年度 課長方針

部課	総務部 庶務課	課長	國井 信太郎
----	---------	----	--------

課の運営方針
<p>○接遇サービスの更なる向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口の対応では、相手からではなく、まずこちらからお声掛けする。 ・電話の対応では、2コール以上お待たせしないよう努める。 ・さわやかに、おはようございます！感謝の意味を込めて、ありがとうございます！の挨拶を徹底する。 <p>○法令順守と創意工夫(迅速かつ適切な対応／担当業務に対しプロとしての責任感を持って対応する。)</p> <p>○業務の遂行に当たっては、情報を共有し、報告・連絡・相談を忘れず、相互に協力し合う。</p> <p>○業務マニュアルを日々改善する。</p> <p>☆「蕨市の行政運営に係る長期計画『コンパクトシティ蕨』将来ビジョン」及び「実現計画」における庶務課所管の推進項目の着実な推進</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
ふるさとわらび 応援寄附イン ターネット受付・ 返礼品制度の充 実	ふるさとわらび応援寄附について、民間ポータルサイトを利用したインターネット受付や寄附者に対して返礼品を贈る制度の充実を図る。	ふるさとわらびの魅力を発信するとともに、返礼品を充実させることにより、より多くの寄附の受入れを図る。	○	魅力発信、返礼品充実についてはおおむね達成したものの、寄附額の増は未達成。
市庁舎の計画的 な保全等	市庁舎の長寿命化を図るため、現庁舎の改修及び機械設備等の更新、修繕等を計画的に行う。	①使用年数の経過により交換を要する自動ドア消耗部品及び消防設備の修繕を実施する。 ②その他、必要な修繕を行う。	◎	①予定どおり、自動ドア消耗部品交換及び消防設備修繕を実施した。 ②適宜、必要な修繕を実施した。
土地開発公社の 健全化	長期保有土地の縮減に努める。	①H25年度に策定した「健全化計画(H25～H33)」に基づき、引き続き、簿価の縮減に努める。 ②6月末頃を目途に線路沿いの「蕨駅西口第1駐車場」の1/5(地積274㎡、簿価219,510,168円)の買い戻しを行う。	◎	①「健全化計画」に基づき、事業を進めている。 ②計画どおり、H29年6月に買い戻しを実施した。

市有財産の売却と有効活用	事業に供する見込みのない普通財産である市有地の売却及び有効活用を促進する。	①事業に供する見込みのない市有地を選定し、積極的に売却を進める。 ②その他、市有地の有効活用を随時検討する。	◎	①-1借地人から返還された元住宅用敷地貸付地を公売により売却(中央三。42,793,700円) ①-2住宅用敷地貸付地を借地人へ売却(北町二。10,464,220円) ②土地賃貸借契約の賃料及び改定更新を含め、市有地の有効活用を図った。
市民会館の維持管理に必要な改修等	「芸術・文化活動への支援と地域の人材活用」や「芸術・文化活動の発表機会の充実」を図るため、市民会館指定管理者と連携しながら、施設の必要な修繕等を実施する。	①構造上一体の建物である中央公民館・勤労青少年ホームと併せて、耐震補強等工事を行う。 ②必要な修繕(見積り額30万円以上)を行う。	◎	必要な工事を予定工期限内に完了した。

平成29年度 課長方針

部課	総務部 人事課	課長	阿部 泰洋
----	---------	----	-------

課の運営方針	
<p>○蕨市人財育成基本方針に基づき、多様化、高度化するニーズに対応しながら、市民のために自らの能力を発揮し、市民とともに行動することができる職員を育成するため、職員研修のさらなる充実に努め、職員の資質及び能力の向上を図る。</p> <p>○「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン推進プランの次の推進項目及び実施項目について重点的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公務員制度改革に対応した人事管理の見直し ・有用な人材の確保 ・健康で元気に働く職員・職場づくりの推進 ・窓口対応等に関する市民評価の実施 ・職員の能力開発機会の充実 ・インターンシップ研修生の受け入れ <p>○本課の職員の基本姿勢として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蕨市人財育成基本方針に掲げる職員像を目指し、常に必要とされる知識の習得並びに能力開発に努めるとともに、問題意識を持って新たな課題や困難な事案に対し自らチャレンジする意欲を持って取り組むことにより、本課業務全体のレベルアップにつなげる。 ・市民評価の実施等の窓口サービス向上運動の先頭に立ち、一層の市民満足度の向上につながるよう、接遇力の改善、強化を図る。 	

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
公務員制度改革に対応した人事管理の見直し【プラン実施項目】	改正地方公務員法に対応した、能力及び実績に基づく人事管理の徹底と退職管理の適正の確保に取り組む。	平成28年度から改正地方公務員法の改正に対応した人事評価を実施しており、29年度からは評価結果について勤勉手当への反映を行う。	◎	29年度の評価結果について、勤勉手当に反映を行った。

<p>有用な人材の確保【プラン実施項目】</p>	<p>職員の採用のあり方について、昨年の採用試験における課題をふまえて、さらなる改善に努める。</p>	<p>平成29年度も引き続き、採用職種、求める人材に応じた工夫を行う。</p>	<p>◎</p>	<p>技術職については受験者の確保のため、平成29年9月3日の独自日程で実施。事務職（福祉含む）、保健師、保育士については9月17日の統一日で試験を実施。さらに技術職、事務職（福祉）については二次募集を行い、平成30年1月28日に試験を実施。併せて、167名の応募があり、117名が受験した。引き続き有用な人材の確保に努める。</p>
<p>健康で元気に働く職員・職場づくりの推進【プラン実施項目】</p>	<p>職員のメンタルヘルス対策やハラスメント防止対策の充実等、更なる職場環境づくりに努める。</p>	<p>職員一人ひとりの健康管理やメンタルヘルス向上に資するよう啓発を推進するとともに、ストレスチェックを継続的に実施する。</p>	<p>◎</p>	<p>平成30年1月17日にメンタルヘルス研修を実施。ストレスチェックは、平成29年10月に実施し、医師による面接指導は、平成30年2月に実施した。</p>
<p>窓口対応等に関する市民評価の実施【プラン実施項目】</p>	<p>職員の窓口対応等について、相手の立場や目線で対応がされているか調査し、接遇の改善・向上に努める。</p>	<p>窓口アンケートを実施（1月頃）し、その調査結果をもとに全庁に改善を促す等、職員の接遇の改善・向上に努めるとともに、結果について市民に公表する。</p>	<p>○</p>	<p>平成30年1月16日から1月30日まで窓口アンケートを実施し、利用者から348件の回答を得た。総合結果では83.3%の利用者が満足、やや満足との肯定的評価。部署別の結果、個別意見もフィードバックを行い、今後の接遇改善につなげるよう職員に周知するとともに、市民にホームページで結果を公表した。</p>
<p>職員の能力開発機会の充実【プラン推進項目】</p>	<p>蕨市人財育成基本方針に基づき、各種研修や人事評価制度等を通して、職員の能力開発を進める。</p>	<p>各種専門研修や講師養成講座研修等、本市の課題に対応した研修機会の確保に努める。また、職員の資格取得支援制度を平成29年度から導入する。</p>	<p>◎</p>	<p>職員研修実施計画を策定し、それに基づき階層別研修や自治大等の派遣研修など各種研修を実施した。職員の資格取得支援制度については、平成29年8月に「蕨市職員資格取得支援制度実施要綱」を整備した。</p>
<p>インターンシップ研修生の受け入れ【プラン実施項目】</p>	<p>公務に対する理解を深め、就業意欲の増進を図るとともに、大学等における教育機能の強化等の一助となることを目的として、インターンシップ研修生の受け入れを行う。</p>	<p>インターンシップ研修生の受け入れについて要綱等の整備を行い、平成29年度から正式な受け入れを開始する。（平成27年度から試行的に実施）</p>	<p>◎</p>	<p>平成29年5月に「蕨市インターンシップ実施要綱」を整備し、インターンシップ研修生の正式な受け入れを開始した。（平成29年度は2名の学生を受け入れ）</p>

平成29年度 課長方針

部課	総務部 政策企画室	室長	根津 賢治
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・法令順守と創意工夫(常にプロとしての責任感を持ち、自己研さんに努め、質の高い業務が行えるように心がける)。 ・業務遂行に当たっては、情報を共有し、報告・連絡・相談を忘れず、相互に協力し合う。また、業務上の課題に対しては、室内全員で議論し解決する。 ・「コンパクトシティ」将来ビジョンの推進に向け、将来ビジョン推進プランの着実な推進を目指す。 ・長期的かつ総合的な視点で公共施設等のマネジメントを推進する。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
市庁舎耐震化整備の方針を策定	市庁舎耐震化整備の基本的な在り方について、建て替えも含めた耐震化、整備の方向性について、整備方針を策定する。	市庁舎耐震化整備の基本的な在り方について、市議会議員、学識経験者、公共的団体の代表、公募市民で構成する市庁舎整備検討審議会へ諮問し、答申を踏まえ、整備方針を策定する。	◎	市庁舎整備検討審議会からの答申等を踏まえ、「蕨市役所庁舎の耐震化は建替えにより行い、建設場所は現在地とする」蕨市庁舎耐震化整備基本方針を策定した。
蕨駅ホームドアの早期設置と駅安全対策を鉄道事業者要望するとともに市啓発活動を実施	蕨駅の環境整備について、だれもが安全と感じられるホームドアの早期設置と安全対策について、鉄道事業者要望・協議するとともに、市は目の不自由な方に対する声かけサポート講習会などのソフト対策を実施する。	蕨駅へ、だれもが安全で安心して利用できる駅環境整備として、ホームドアの早期設置と安全対策について、鉄道事業者要望・協議し、実現を図る。市として、声かけサポート講習会を開催するなど、安全対策のソフト事業に取り組み、啓発を図る。	◎	蕨駅へホームドアの早期設置と安全対策について、鉄道事業者に要望・協議を続けた。目の不自由な方に対する声かけサポート講習会などのソフト対策を実施し、啓発を図った。
2020東京オリンピック・パラリンピック聖火リレー誘致に向けた活動	2020東京オリンピック・パラリンピック聖火リレー誘致について、関係機関へ要望していくとともに、1964東京オリンピックの聖火リレー写真展を開催する。	2020東京オリンピック聖火リレー誘致について、戸田市と連携して、関係機関へ要望していくとともに、市内を通過した1964東京オリンピック聖火リレー写真展を開催し、気運醸成に向けた取組みを行う。	△	29年3月に戸田市とともに県へ東京オリンピック聖火リレー誘致の要望を行い、その後も誘致への取組みについて研究・検討した。市内を通過した1964東京オリンピック聖火リレー写真展を開催し、気運醸成を図った。

「コンパクトシティ」将来ビジョンの進行管理	<p>蕨市将来構想に掲げた、まちの将来像「安心とにぎわい みんなにあたたかい 日本一のコンパクトシティ」の実現に向け、将来ビジョンの進行管理を行う。</p>	<p>将来ビジョンに掲げた施策等の主要な事業の概要、事業費などを示した3年間の実行計画を作成し、毎年ローリングによる見直しを行うとともに、将来ビジョン推進プランの実施項目の着実な推進を目指す。</p>	◎	<p>将来ビジョンの主要事業概要や3年間分の事業費等をまとめた実行計画を作成。将来ビジョン推進プランについては、実施項目の進行管理を確認し、計画的に推進できるよう調整を図った。</p>
公共施設等のファシリティマネジメントの推進【プラン推進項目】	<p>平成29年度からスタートの公共施設等総合管理計画の推進を図る。</p>	<p>新たに設置した公共施設マネジメント推進担当を中心に、推進体制の構築を図り、公共施設等総合管理計画の基本目標や実施方針、施設類型ごとの管理に関する基本的な方針の実現を目指す。</p>	○	<p>施設類型ごとの管理に関する基本的な方針の実現として、公共施設の耐震化を着実に進めている。</p>
使用料及び手数料の見直し【プラン実施項目】	<p>使用料及び手数料の指針策定</p>	<p>受益者負担の在り方を研究し、使用料及び手数料の設定に関する指針を策定する。</p>	△	<p>各施設の受益者負担の在り方を研究した結果、老朽化の状態が様々であり、老朽化した施設について、現状のまま受益者負担を見直すことは慎重に対応する必要があることなどから、指針として一律の基準を定めることは難しいと判断。施設更新等の際には、費用負担の公平性から、受益者負担について検討し、見直しを図っていく。</p>
マスコットキャラクターの有効活用【プラン実施項目】	<p>マスコットキャラクター「ワラビー」「エンジェルわらぶー」のグッズを製作し、販売する。</p>	<p>マスコットキャラクター「ワラビー」「エンジェルわらぶー」のグッズを製作・販売し、市のPRに努める。</p>	◎	<p>各イベントへマスコットキャラクター「ワラビー」「エンジェルわらぶー」の着ぐるみ出演するとともに、グッズを製作・販売し、市のPRに努めた。</p>
市民参画・協働を推進する条例の適切な運用	<p>市民と行政が同じ目標に向かって、市民参画・協働のまちづくりを進めていくため、そのよりどころとなる条例の適正な運用を行う。</p>	<p>市民及び職員に対し、引き続き本条例の趣旨等の周知を行うとともに、適正な運用に努める。 平成28年度における市民参画手続き状況や協働事業などについて意見等をいただくため「みんなで創るわらび推進条例市民懇談会」を開催する。 懇談会からの意見をもとに市民参画と協働の実施状況を取りまとめ公表する。</p>	◎	<p>「みんなで創るわらび推進条例市民懇談会」を開催し、平成28年度の実施状況について、ご意見を伺うとともに、協働の実施状況について公表した。また、本条例の趣旨等の周知を行い、適正な運用に努めた。</p>

平成29年度 課長方針 検証

部課	総務部 財政課	課長	相馬 一富
----	---------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・効率的で持続可能な財政運営の推進にあたり、経費節減努力を続けること。 ・最少の経費で最大の行政効果を挙げること。 ・知識の習得に日々自己研鑽するとともに、新たな事務に積極的に取り組むこと。 ・前例踏襲ではなく、新たな発想、広い視野で思考すること。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
土地開発公社経営健全化【プラン推進項目】	平成33年度までの土地開発公社経営健全化計画を着実に実施	土地開発公社の経営健全化に向けて、計画に位置付けられた土地の買戻しを図る。土地開発公社への借入金利子相当の補助金を削減	◎	計画どおり、蕨駅西口第一駐車場(くるる横の課金式駐輪場の隣)の一部と錦町土地区画整理事業用地の買戻しを実施。この結果、土地開発公社の平成29年度末借入金残高は約2億6,300万円減少し、約33億6,500万円となった。また、平成30年度当初予算における土地開発公社補助金は、107万1千円減少し、1,452万7千円となった。
公共施設の耐震化	公共施設の耐震化について、施策の優先度を高めて財源を確保し、配分	錦町児童館、図書館、市営住宅、塚越分署の耐震化促進に向け、財源を確保し、予算化を図る。	◎	錦町児童館・図書館の耐震補強等工事、消防署塚越分署の建て替え設計及び仮設事務所整備工事、市営住宅の診断委託について、国庫補助金や市債、基金などで財源を確保したうえで、平成30年度当初予算に計上した。
地方公会計の統一的な基準による財務書類の整備	平成28年度の統一的な基準による財務書類を作成する。	平成28年度決算をもとに、一般会計等及び全体の貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の4表を作成する。 (関連団体を加えた連結の財務書類の完成時期は、関連団体からの財務書類提供時期による)	◎	固定資産台帳を平成28年度中の異動を反映させたものに更新するとともに、平成28年度決算についての一般会計等・全体・連結の貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書を作成し、固定資産台帳(一覧)とともに市ホームページで公表した。
市内業者の受注機会を確保	各契約案件について、市内業者の受注機会を確保に努める。	各契約案件について、市内業者の受注機会の確保に努め、100万円以下の修理・修繕については小規模修理・修繕契約希望登録業者の活用を図る。	◎	小規模修理・修繕契約希望者登録が、平成29年6月末で有効期間が切れることから、平成29年7月から2年間の新たな登録を募集し、更新した。また、例年同様、各課に小規模修理・修繕契約希望登録業者の積極的な活用を依頼した。 ※事業者に対する契約実績については、まだ出納閉鎖期日を迎えていないため、現在集計中。

平成29年度 課長方針 検証

部課	総務部 情報管理室	室長	高橋 克徳
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・法令を遵守し、情報セキュリティや情報通信技術に係る知識習得に努め、業務遂行能力の向上を図ること。 ・業務遂行にあたっては、課内で情報を共有し、協力・連携して課題解決に取り組むこと。 ・基幹系システムの安定稼働を図り、業務を円滑に推進すること。 ・「第3次蔵市情報化総合推進計画」に基づき、電子市役所の構築を推進すること。 ・「情報提供ネットワーク」への対応や「マイナポータル」の導入など、マイナンバー制度への対応を円滑に進めること。 ・国の「自治体情報セキュリティ強化対策」に基づき、更なる情報セキュリティ対策の充実を図ること。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
情報システムの運営	基幹系システム及び財務会計システムなどの情報システムを安全・確実に運用する。	平成25年10月に稼働した財務会計システム、平成26年1月にオープン化した基幹系システムを安全・確実に運用するために、機器及びシステムの維持管理を行っていく。また、平成31年度のMicrosoft製品のサポート終了に向けたシステムの更新準備を開始する。	◎	特に大きな障害もなく、安定したシステム運用が図られている。また、システム更新に係る入替時期等について検討を行った。
マイナンバー制度に係るシステムの構築	国のスケジュールに基づき、情報提供ネットワークを用いた「情報連携」や「マイナポータル」の構築作業を進めていく。	情報連携に係る対応は、副本登録や総合運用テストなどの導入作業を6月末までに完了させ、マイナポータルへの対応は、ポータルサイトの掲載情報の登録や、子育てワンストップサービスの導入準備など、国が示すスケジュールにあわせ、遅滞なく進めていく。	◎	国のスケジュールに基づき、導入作業が完了した。導入後は安定運用が図られている。

<p>地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業</p>	<p>マイナンバー制度による情報連携の開始にあわせて、情報セキュリティ対策を強化する。</p>	<p>6月末までに、県と協力し、自治体情報セキュリティクラウドを構築し、内部情報系とインターネット接続系の分割を遅滞なく完了させる。また、基幹系システムでは、現行のID及びパスワードによる認証に加えて、ICカードによる認証を導入する。</p>	<p>◎</p>	<p>国のスケジュールに基づき、導入作業が完了した。導入後は安定運用が図られている。</p>
<p>第3次蕨市情報化総合推進計画の見直し</p>	<p>平成27年3月に策定した「第3次蕨市情報化総合推進計画(平成27年～平成31年)」が、計画開始から3年経過したことから、当該計画に記載のアクションプランを、現状に即した内容に変更する。</p>	<p>平成29年度中に計画の見直しを完了させ公表する。</p>	<p>◎</p>	<p>当該計画のアクションプランの進捗状況及び課題を整理し、残りの計画期間の実施内容について見直しを行い、平成30年3月に当該計画の改訂作業を完了した。</p>

平成29年度 課長方針

部課	総務部 税務課	課長	藤野 聡雄
----	---------	----	-------

課の運営方針	
○公平・公正かつ適正な課税	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりが、税務行政のプロとしての自覚を持って、日々の業務に当たる。 ・常に法令を順守し、税制に関する知識の習得に努める。 ・課税客体を的確に把握するために、実地調査等の必要な調査を随時実施する。 ・税制改正等に対応すべく必要な条例等の整備やシステム改修を行い、適切な課税環境を維持する。
○市民に信頼される税務行政の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・親切かつ丁寧な接遇を推進し、市民の方に「さわやかな窓口サービス」を提供する。 ・税の仕組みを説明する際は、専門用語を多用せず、分かりやすい言葉で説明する。 ・個人情報の取扱いには細心の注意を払うとともに、厳重な管理を行う。
○良好な職場環境の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な挨拶を励行する。 ・報告・連絡・相談を徹底し、情報の共有を図るとともに、懸案事項等については、相互に協力しながら解決する。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
市県民税賦課業務	市民税の課税客体である個人・法人の所在並びに所得を的確に把握し、適正かつ公平な賦課を行う。	個人は課税資料や扶養関係の資料収集に、法人については新規及び休廃業等営業実態の把握に努め、必要に応じて調査を行う。	◎	<p>市県民税「個人分」では、税務署や他団体との連携による課税資料収集や扶養関係調査を行い、未申告者数の削減に努めた。</p> <p>「法人分」では、税務署等からの資料収集のほか、訪問実態調査を行い、事業実態がある事業所に対して、均等割課税等を行った。</p> <p>【調査等の件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個人分 <ul style="list-style-type: none"> ・通知書送付件数(夏):1,972件 ・通知書送付件数(秋):1,311件 ○法人分 <ul style="list-style-type: none"> ・通知書送付・訪問調査件数:118件

<p>固定資産税及び都市計画税賦課業務</p>	<p>固定資産税及び都市計画税の課税客体である土地・家屋・償却資産を的確に把握し、適正かつ公平な賦課を行う。</p>	<p>土地・家屋については、登記済通知書や公図等を活用して、課税客体の現況を調査する。償却資産については、未申告事業所等の調査を行う。</p>	<p>◎</p> <p>固定資産のうち「土地」は、分合筆、更地等に対して、「家屋」は、新增築・滅失・未登記家屋等に対して、各種調査を実施することで、適正かつ公平な賦課を行った。「償却資産」については、未申告事業所に対する催告や現地調査を行い、正確な課税客体の把握に努めた。 【調査等の件数】 ○土地・調査件数：約450件 ○家屋・調査件数：約850件 ○償却資産・催告件数：約250件</p>
<p>軽自動車税賦課業務</p>	<p>市内に定置場を持つ軽自動車等の所有者に対し、適正かつ公平な賦課業務を行う。</p>	<p>軽自動車等の所有状況の確認、通知の送付などの実態調査を行う。</p>	<p>◎</p> <p>軽自動車等の所有状況について実態調査を実施することで、適正かつ公平な賦課を行った。 【調査等の件数】 ○所有確認調査件数：854件</p>
<p>原動機付自転車のご当地ナンバー交付事業</p>	<p>シティプロモーションの一環として、原動機付自転車のナンバープレートに「ご当地ナンバー」を導入する。</p>	<p>平成29年12月の窓口交付(通常交付)を目途に、デザインの決定からプレート製作・交付までを計画的に進めていく。 なお、交付にあたっては「従来ナンバー」との選択制とする。</p>	<p>◎</p> <p>平成29年7月にデザインを人気投票で決め、11月の希望番号の事前交付を経て、12月1日から窓口交付(通常交付)を開始した。 【オリジナルナンバー交付枚数(29年度末)】 ○148枚</p>

平成29年度 課長方針

部課	総務部 納税推進室	課長	田上 正行
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・納期内に納税している大多数の納税者との「公平性を確保」する。 ・行政サービスを継続的かつ安定的に提供するため、自主財源である「税収を確保」する。 ・徴税吏員の権限を最大限発揮し、効率的な滞納整理を進める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
現年課税分の徴収強化(新規滞納の抑止)	<ul style="list-style-type: none"> ・催告(差押予告)書の送付 ・大口滞納者の早期納税相談 ・大口固定資産税滞納は不動産の差押 	現年課税分の滞納者に年度内の納付を促すため、新たにコンビニ納付が可能な納付書を同封し、新規滞納の抑制を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・市税収納率目標98.3% ・国保税収納率目標87.3% 	○	県税との共同催告を含め、現年度課税分を中心に年7回の一斉催告(差押予告書)を実施するとともに、大口滞納者には早期の納税相談を行った。その結果、3月末現在の現年度分市税収納率は、対前年度比0.1%の増、国保税は1.4%の増となっている。
滞納繰越分の圧縮	<ul style="list-style-type: none"> ・財産調査の強化 ・差押処分強化(換価しやすい預金・生命保険・給与などの債権) ・延滞金徴収の徹底 ・累積滞納者の納税相談 ・担税力、財産のない案件は処分を停止する。 ・困難案件については、県の徴収対策を活用し、連携を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・差押処分目標件数400件 ・換価額目標8,000万円 ・延滞金徴収目標5,000万円 ・現滞合計市税収納率目標93.1% ・現滞合計国保税収納率目標59.5% ・納税相談により自主納付を促し、早期の完納を目指す。 	◎	3月末現在の差押え件数は904件、税に充当した換価額は1億1,429万円、延滞金の徴収額は1億515万円、また、納税相談を強化し、面接による納付能力を十分に吟味し、納税誓約提出のうえ分割での自主納付を促した。その結果、3月末現在の滞納繰越分市税収納率は、対前年度比3.3%の増、国保税は5.5%の増、現滞合計の市税収納率は0.8%の増、国保税は3.5%の増となっている。

納税環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・休日納税相談、納税窓口の拡充 ・口座振替の加入促進 ・さらなる納税機会の拡充の検討 	納税者の納付機会を拡大し、納付しやすい環境づくりに努め、納期内納付の向上を目指す。	○	年2回の休日納税相談窓口を開設、また、口座振替の加入促進事業として、市広報、ホームページ、西川口納税貯蓄組合連合会の会報等に口座振替の加入促進のための記事を掲載した。
市税等市債権回収対策の強化【プラン推進項目】	<ul style="list-style-type: none"> ・市税については、納税相談を実施し、自主納付を促し、納税相談に応じない者は、差押などの滞納処分を進める。 ・自立執行権のない私債権については、悪質な場合、司法に委ね、強制執行により債権回収の実現を図る。 	蕨市債権管理対策委員会において、各主管課の収納状況や取組状況について、報告や意見交換を行い、債権回収に対する共通認識を持ち、積極的に債権回収に努める。	○	市の保有する債権については、各主管課において「基本指針」「マニュアル」に基づき対応するものとするが、委員会において各主管課の収納状況や取組状況について、報告や意見交換等を行うことで、債権回収に対する共通認識を持ち、積極的に債権回収に努める。